

医療従事者向け ピジョンセミナー

メンタルヘルスケア

妊産婦のメンタルヘルスケアと 切れ目のない支援



現在、日本における産後うつの可能性は7～10人に1人と言われ、誰もがなりうる可能性があります。また父親でも発症するので、家族全体をサポートしていく必要があります。妊娠中からパートナーとともに知識を得ておくこと、産後を具体的にイメージし準備すること、地域にある社会資源を活用することは私たち医療者が妊産婦に提供すべき視点です。また、産後の身体的な回復を支援することや母乳育児に自信を持たせるケアは、メンタルヘルスを健やかに保ち、母親役割への自信にもつながっていきます。妊娠中から産後までの切れ目のない支援の具体的実践について考えていきましょう。

日時

2019年5月19日(日)

- ①午前の回 10:30～12:30(受付開始10:00～)
 - ②午後の回 14:00～16:00(受付開始13:30～)
- ※午前・午後は同じ内容です。

会場

仙台

**フォレスト仙台2F
フォレストホール1**

【アクセス】地下鉄「北四番丁」北2出口徒歩約7分

参加費

各回1,500円(税込)

※参加費には資料等を含みます。

対象

母乳哺育・授乳支援などに携わる専門家/助産師/看護師/保健師/保育士/栄養士他、医療従事者
午前の回 75名様、午後の回 75名様 各回先着順
※定員になり次第、応募受付を終了いたします。

内容

- 出産を取り巻く現状
- 産後うつの現状
- 出産準備教育の工夫
- 産科入院中に行うべき支援
- エジンバラ産後うつ病自己質問票(EPDS)の活用
- スクリーニングの方法
- 産後ケアの活用と効果
- 子育て世代包括支援センターとの連携 他

※内容・順番は一部変更になる場合があります。

講師

市川 香織 先生

((一社)産前産後ケア推進協会 代表理事 /
東京情報大学看護学部看護学科准教授)

プロフィール

千葉県出身。千葉大学医学部附属助産婦学校卒業。2012年修士(経営学)、2017年博士(看護学)修了。千葉大学医学部附属病院、助産師学校などに勤務後、2004年～2005年厚生労働省へ出向し、母子保健行政に携わる。2009年～2013年まで、(公社)日本助産師会事務局長、2010年(株)日本助産師会出版を設立し2018年まで取締役を務める。2013年(一社)産前産後ケア推進協会を設立し、代表理事に就任。2014年文京学院大学保健医療技術学部看護学科准教授、2018年4月より東京情報大学看護学部看護学科准教授に就任、現在に至る。(公財)母子衛生研究会理事。



お申し込み

2019年2月15日(金) 受付開始

お申し込み
方法

下記、ウェブサイト「ピジョン医療従事者向けサイト」の特設ページよりお申し込みください。
ウェブサイトはパソコンとスマートフォンに対応しています。

URL <https://ai.pigeon.co.jp/seminar/detail-19-ichikawa.html>



セミナー全般に関するお問い合わせ先

ピジョンセミナー運営事務局(PBコンベンション)
TEL:090-8514-2556 e-mail:info@petitbreast.com